

被災地の最前線で活動した講師から学ぶ実践講座

災害ボランティアセンター について学ぼう

2026

09/01

火

2011年東日本大震災から2024年能登半島地震まで、災害ボランティアセンターの運営や被災地支援の最前線に長年携わった講師が、現場での経験をもとに「災害ボランティアセンターの役割」と「地域で支える仕組み」を分かりやすくお伝えします。

この講座で学べること

- ・ 災害ボランティアセンターの役割と運営
- ・ 社会福祉協議会と支援団体、それぞれの役割
- ・ 能登半島地震での支援事例
- ・ 外部支援者との繋がりづくり
- ・ ワーク) 災害ボランティアセンター運営を体験してみよう!



定員：先着20名

参加費：2,000円

会場：いしのまき災害支援ベース
石巻市桃生町給人町東町96
(旧中津山第一小学校)

申込：QRコードもしくは
事務局携帯

070-8416-5325



(福) 大崎市社会福祉協議会
事務局次長 総務福祉部長
加藤 大介 氏

東日本大震災では石巻市で支援活動に従事。以降、大崎市で発生した水害では、災害ボランティアセンターの運営や行政・地域関係者との連携に携わる。令和6年能登半島地震では珠洲市で支援活動を行うなど、被災地支援の経験を有する。



ウェザーハート災害福祉事務所
代表 千川原 公彦 氏

山形市を拠点に、全国各地の被災地で災害ボランティアセンターの運営支援に携わる。地域に寄り添った支援を大切にしながら、令和6年能登半島地震では珠洲市で支援活動を行うなど、豊富な支援経験を有する。

お問い合わせはこちら

一般社団法人いしのまき災害支援ネットワーク

info@issn-miyagi.jp

070-8416-5325 (事務局携帯)

SNSで情報
発信中!

私たち、いしのまき災害支援ネットワークは、2025年3月に設立しました。同年9月には、石巻市と日本財団が災害対策拠点事業に関する協定を締結し、当団体はその実践主体として事業を受託しています。「災害予防」「災害応急対策」「災害復旧」の切れ目ない支援の実践モデル構築を目指し、地域に根ざした災害支援活動に取り組んでいます。

